

概要版

# はんのうぶくしの森プラン

— 第4次飯能市地域福祉計画・第5次飯能市地域福祉活動計画 —



令和6年度～令和11年度

令和6年3月

飯能市・社会福祉法人飯能市社会福祉協議会



# 「ふくしの森」をみんなで育むプランです

飯能市では、「地域共生社会」をつくるため、市民、社会福祉協議会と市が一緒になって、「はんのうふくしの森プラン」を策定しました。

「地域共生社会」とは、誰もが「支える側」にも「支えられる側」にもなれて、生きがいや役割をもち、助け合いながら暮らしていくことのできる社会のことです。

森には、たくさんの生き物が暮らしています。「はんのうふくしの森プラン」は、この森のように、人と人が認め合い、たがいに助け合うことによって、誰もが安心してふだんのくらしのしあわせを感じながら暮らすことができるまちをつくってほしいという願いから生まれました。

## 豊かに育つふくしの森



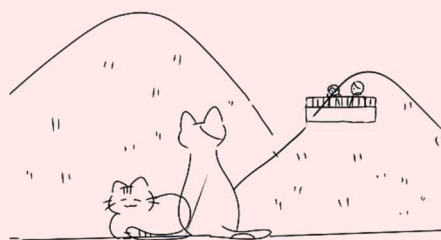


## ふくしの森のスケッチ ～その1～

朝、目が覚めると、裏山から鳥のさえずりが聞こえる。  
ふと窓に目を向けると、高齢の夫婦が朝の散歩を楽しんでいる。



出勤の時間、小学生の息子と玄関を出ると、  
通学班の待ち合わせしていた小学生が息子に  
「おはよう!」と元気に声をかけてくれた。  
私も子どもたちに「おはよう」と言うと、  
「おはようございます」と返事が来た。  
朝からいい気分になる。



私は地元の企業に勤めている。  
昼休み、後輩が元気のないことに気づいた。  
「どうしたの?」と声をかけた。「よければ話を聞かせて」  
後輩は「ありがとうございます」と言って少し戸惑いながらも、  
親の病気のこと、そして家族のことを話してくれた。  
福祉制度の知識はないけれど、私は後輩の悩みをうなずきながら聞いた。

「話聞いてくれてありがとうございます。少しすっきりしました」  
後輩はそう言うと少し笑顔になった。

夕方、帰宅の途中で、近所の独り暮らしのご婦人に出会う。  
「こんにちは。お買い物ですか?」  
「仕事帰り?おかえりなさい」  
こんなあいさつを交わし、私は彼女の買い物袋を持ち、他愛のない会話を  
しながら一緒に帰路につく。

彼女は最近、近所のサロンに行きはじめ、そこでおしゃべりするのが  
楽しみなのだという。

「今度、サロンでモルック※やるんだけど来ない?」と誘われた。

息子と一緒に参加しようかな。

※「モルック」とは、フィンランドの伝統的なゲームを元に、誰もが楽しめるものとして考えられたアウトドアスポーツで、「モルック」と呼ばれる木の棒を下投げで投げて、3~4m離れた位置に置かれている「スキttl」と呼ばれる数字が書かれた木の棒を倒して点を取っていくゲームです。



# このプランが大切にしていること

## 1 基本理念

新たなつながりと支え合いが育む  
ふだんのくらしのしあわせ

## 2 基本目標 ～【交】【支】【安】で育む「ふくしの森」～

### 【交】 交流が生まれる機会と 外出しやすい環境をつくろう

地域の中であたたかい交流が生まれ、安心して過ごせるよう、交流の場づくりや福祉学習を推進するとともに、外出しやすい環境をつくりまします。

#### 〈主な内容〉

- 地域の居場所などの交流の場づくり
- 外出支援の仕組みづくりと外出しやすい環境づくり
- 福祉への理解を深める学習の推進

#### 〈SDGs アイコン〉



### 【支】 支え合いの 仕組みをつくろう

地域における様々な生活課題を踏まえた支え合いの仕組みづくりと、「ふくしの森」を育む人の育成を進めます。

#### 〈主な内容〉

- 地域で支え合う人の育成
- ボランティア活動への支援
- 地域の実状に合わせた支え合いの仕組みづくり
- 多様な主体との連携

#### 〈SDGs アイコン〉



### 【安】 安心して暮らせる仕組みをつくろう

一人ひとりの意思を尊重できる相談支援体制の充実と権利擁護<sup>※1</sup>を推進し、誰もが望んでいる暮らしを安心して送れる地域づくりを進めます。

#### 〈主な内容〉

- 相談支援体制の強化
- 制度やサービスにつながる環境づくり (包括的支援体制の整備)
- 権利擁護の推進
- 安心して暮らせる地域づくり
- 必要な人に情報が届く仕組みづくり
- 再犯防止を推進する地域づくり (再犯防止推進計画<sup>※2</sup>の推進)

#### 〈SDGs アイコン〉



※1 「権利擁護」とは、障害などのために自分で判断することが難しかったりする人の代わりに、自分の意志や権利を主張するお手伝いする活動などのことをいいます。

※2 犯罪や非行をした人たちに対する支援の充実、理解促進などにより、より良い地域づくりを目指す「飯能市再犯防止推進計画」を新たに包含しました。

詳しくは本編をご覧ください。



# このプランで特に進めること（重点取組）

つながりや支え合いが感じられて、だれもがふだんのくらしでしあわせを感じられる社会をつくるため、市では、困りごとが解決しやすい仕組みづくりを進めていきます。

また、社会福祉協議会では、身近な場所で相談しやすい環境づくりや地域づくりを進めていきます。

## 〔市の重点取組〕

### どんな困りごとも受け止めつながる支援体制づくり （包括的支援体制の整備）

#### 〈具体的な取組〉

- ・総合相談窓口の在り方について検討し、相談しやすい窓口の実現
- ・重層的支援体制整備事業の実施
- ・つながり続ける支援体制の整備



## 〔社会福祉協議会の重点取組〕

### 1 相談支援体制の充実

#### 〈具体的な取組〉

- ・コミュニティソーシャルワーカーのすべてのふくしの森圏域（13 圏域）への専任配置
- ・ふくしの森ステーションのすべてのふくしの森圏域（13 圏域）への設置

### 2 多様な地域づくりの推進

#### 〈具体的な取組〉

- ・多様な居場所づくりへの支援
- ・圏域別ふくしの森活動計画推進への支援
- ・ふくしの森リーダーの育成
- ・情報の発信と共有



#### 包括的支援体制について

地域において、様々な生活課題を抱え、支援を必要とする人を他人事ではなく「我が事」として考え、解決に向けた取組が行われる仕組みや、様々な課題に関する相談を「丸ごと」受け止める体制のことをいいます。



#### コミュニティソーシャルワーカー（CSW）について

地域において、様々な生活課題を抱え、支援を必要とする人に対して、地域とのつながりや人間関係など、本人を取り巻く生活環境を重視した相談援助を行う社会福祉協議会職員のことです。



#### ふくしの森ステーションについて

コミュニティソーシャルワーカーが、ふくしのなんでも相談員として活動する地域の拠点です。日頃から悩んでいること、不安に感じていることがありましたら、お気軽にご相談ください。



#### ふくしの森リーダーについて

新たに地域活動を立ち上げる、既存活動の後継者になるなど、自身が中心となって地域活動に取り組んでいく方をいいます。

- <活動例>
- ・仲間を募ってこどもの居場所を立ち上げた。
  - ・新たな担い手として地域の活動団体に参画した。
  - ・身近に困りごとのある人の存在に気づきコミュニティソーシャルワーカーと協働した。

# 話し合いを重ね、「圏域別ふくしの森活動計画」ができました!



市の圏域ごとに地域住民をはじめ、地域に関わる様々な団体や企業などが一緒になって、地域ごとのスローガン（目指す姿）や取組内容を定めました。

これらのスローガン（目指す姿）を実現するために、それぞれの圏域において、みんなで取組を進めていきます。

圏域名	スローガン（目指す姿）
飯能中央	“ありがとう”たがいに言える ささえあいの飯能(まち)
第二区	「困った」が言いやすい地域づくり 「ふくし」を身近に感じられる地域づくり
富士見	みんなのチカラでつながりを大事に
精明	里山と空と星が輝くきれいなまち精明 ~世代を超えて会話がができるまち~
双柳	誰もが安心して楽しく暮らせる双柳 ~互いに支え合う住みよい地域~
加治東	持続可能なたすけあいの地域を目指して
加治	①ひとりに(孤立)させない ②つながりをたもつ(つくる) ③安心・安全なあたたかい地域
美杉台	ひろげよう世代をこえて 楽しくつながる美杉の「わ」
南高麗	「新たなつながりと支え合い」 ~笑顔いっぱいの南高麗~
吾野	みんなが住みたいまちを目指そう
東吾野	幅広い世代が支え合い 「ほっこり」する未来に向かって
原市場	みんなが協力し幸せで安心できる、ふくしのまちづくり原市場
名栗	やさしさのある、温かい名栗 ~これからも相手を思いやれるやさしい、人がいる温かい名栗であり続けたい~



# 身近な地域で、「ふくしの森」がさらに広がっていきます

圏域別ふくしの森活動計画の推進により、圏域ごとの特色ある取組が展開され、「ふくしの森」が豊かに育まれていきます。

## ～「あそこに行けば誰かに会える」自分らしく過ごせる“地域の居場所”～



永田台ふれあいサロン



ふれあい交流室なぐりえんカレー食堂



えんがわサロン松原



きまぐれ駄菓子屋



なぐりの茶の間



ふくしの森サロンやまびこ

## ～「住み慣れた地域で、いつまでも私らしく」地域の状況に応じた“支え合いの活動”～



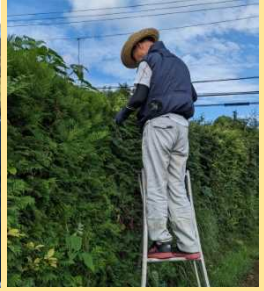
配食ひまわりの会はいちば



ささえあい南高麗 助け合い事業



たすけあい加治



たすけあい精明



たすけあいあがの らくだ号



ふくしの森・東吾野 移動販売



富士見お助け隊

**「私にもなにかできるかな」「身近な地域でこんなことをやってみたいな」  
そう思ったあなたはぜひ“はんのうふくしの森プラン推進市民会議”へ**

「はんのうふくしの森プラン推進市民会議」は、ふくしの森リーダーをはじめとした地域活動に取り組んでいる方、取り組んでいきたいという方の「学びと交流の場」です。詳しくは社会福祉協議会までお問い合わせください。



## ふくしの森のスケッチ ～その2～

朝、ごみ出しをしていたら、近所のご婦人に、

「おはよう!このまえのモルック、息子さんと来てくれてありがとう!息子さん、大きくなったわね!」と、声をかけられた。

「おはようございます!モルック、楽しかったです!息子も私も、夢中になっちゃいました」と笑顔で答えた。

「お仕事、頑張ってるね、いってらっしゃい!」

ご婦人は元気に言ってくれたが、  
ごみ袋を少し辛そうに運んでいたように見えた。

職場の後輩は、最近笑顔が増えたように思う。

「最近どう?」と、何気なく聞くと、

「今、身内のことでいろんなところで相談に乗ってもらえるようになって、だいぶ楽になりました」と笑顔で答えてくれた。

そのあと、「時には、弱いところを出せる勇気が必要なんだって、感じました」

「この前相談にのっていただいて、ありがとうございました」と、言われた。

なんか少し、照れ臭くなったけど、

彼の言う“弱いところを出せる勇気”は、誰にでも必要だよな、と感じた。

息子が授業で、福祉は、みんなの“**ふ**だんの **く**らしの **し**あわせ”を考えることだと学んだと、教えてくれた。

福祉って、あんまり関係ないと思ったけど、案外身近なものかも、と思えた。

ふと、近所のご婦人の顔が浮かんだ。

困りごと、あたりしなないかな…。

明日の朝は彼女に私から声をかけてみよう。

そう思って空を見上げた私に、

風が、森の香りを運んできた。



◆本編をご覧になりたい方は、次のワードで検索してください。

はんのうふくしの森プラン



発行 飯能市／社会福祉法人飯能市社会福祉協議会  
編集

飯能市 福祉子ども部 地域・生活福祉課  
所在地 〒357-8501  
埼玉県飯能市大字双柳1番地の1  
電話 042-973-2111(代)  
ファクス 042-973-2120  
ホームページ <https://www.city.hanno.lg.jp>

社会福祉法人飯能市社会福祉協議会  
所在地 〒357-0021  
埼玉県飯能市大字双柳371番地13  
電話 042-973-0022(代)  
ファクス 042-973-8941  
ホームページ <https://www.hannosyakyo.or.jp>